

予算決算福祉文教小委員会審査報告

令和8年3月19日

予算決算常任委員長 清水 満 様

福祉文教小委員長 近 藤 正

本小委員会に付託された事件にかかる審査内容及び主な質疑、意見等について、次のとおり報告します。

記

事件の番号	付 記 内 容
議案第24号	令和8年度飯綱町一般会計予算中、 民生費、衛生費、労働費（シルバー人材センター運営事業） 教育費及び関係歳入

第3款 民生費

□保健福祉課

質疑①：結婚相談事業の成果はどうなっているか。

回答①：令和6年度の実績として、登録者数が男性27名、女性16名、相談延べ人数は365名、成婚者数は1組である。成婚につながるよう、県のマッチングアプリの活用やプロフィールの書き方などの講座を開催するなど支援を行っているところである。

質疑②：福祉向けの公営住宅貸付に係る修繕について、冷暖房費抑制につながる設備改修やLED化は検討しているか。

回答②：従来の教員住宅を活用しているため、修繕は必要最低限にとどめ、利用者からの要望などに応じて対応している状況である。
LED化については、町施設全体の計画において検討している。

質疑③：障害者総合支援給付費が増額されているが、放課後等デイサービスについては、定員の縮小により利用したくてもできない状況もあると思うが今後の見通しはどうか。

回答③：町内での受け皿は増えない状況であり、町外のサービスを案内している。

現在、長野市や中野市の事業所を利用している方がいる。

質疑④：町外のサービス利用について、送迎はどうしているか。

回答④：サービス提供事業者により対応は異なるが、迎えを行っている事業所もある。

サービス利用については、利用者、事業者、プランナー、町が連携して支援会議を実施し、送迎を含め通えるかどうかを検討している。

質疑⑤：町内の児童福祉サービスについて、受入れ人数が増える予定はあるか。

回答⑤：事業所の定員もあり、現状で増える予定は聞いていない。

質疑⑥：高齢者等支援対策事業について、予算減額の要因は何か。

回答⑥：輸送サービス事業の実績に基づく減額が主なものであり、単独事業のため一般財源が減額となっている。

質疑⑦：人工透析患者通院費助成事業の利用状況はどうなっているか。

回答⑦：現在の利用者は1名。住民税非課税世帯が条件であるため、該当にならない

ケースもある。見落としのないよう広報を行い、障害者手帳の交付時には、該当になりそうな方への声掛けを行っていききたい。

質疑⑧：要援護者台帳に係る個別計画の進捗状況はどうなっているか。

回答⑧：令和7年度は個別計画の作成まで至っていない状況であるが、令和8年度においては関係機関との情報を共有しながら進めていききたい。また、要援護者台帳と高齢者福祉事業所で作成する個々のBCP（事業継続計画）との整合も図っていききたい。

質疑⑨：地域活動支援センター委託と地域活動支援センター相談支援業務委託の違いは何か。

回答⑨：地域活動支援センター委託については、利用者が地域において自立した生活を営むことができるよう、日中の居場所づくりや創作的活動等の機会の提供及び社会との交流の促進を図ることを目的に、社会福祉法人林檎の里に委託している事業である。

また、地域活動支援センター相談支援業務委託については、障害者等からの相談に応じ、必要な情報の提供等の便宜を供与することや権利擁護のために必要な援助を行い自立した生活を営むことができるようにすることを目的に、社会福祉法人林檎の里に委託している事業である。

質疑⑩：地域活動支援センター委託と相談支援業務委託の実績はどうか。

回答⑩：令和6年度の実績として、地域活動支援センター事業について、登録者56名、実利用者40名、開所日229日、延べ利用者人数1,149名となっている。活動内容としては、カフェ活動、いこい活動、わたしの時間、個別利用活動、交流会活動を実施している。

相談支援事業について、相談件数は延べ157件、実相談者数は月平均7名となっている。また、電話での相談対応や地域活動支援センター来所者への相談対応を行っている。

質疑⑪：介護職員定着促進事業について、令和6年度の行政報告書を見て、3倍くら

いの需要があると思っていたが、今回の予算で足りるのか。

回答⑪：対象者には、新規採用後、継続して6か月以上勤務し、その後3年以上勤務していることなどの条件が設けられている。本事業は令和5年度から開始され、令和6年度には条件に該当する方が多数いたものの、現在は対象者が減少しているため、この予算額で対応可能と考えている。

質疑⑫：介護予防支援事業費中、いきいきサロン他が増えると説明があったが、全体として数は増えているのか。

回答⑫：社会福祉協議会の担当者からの聞き取りで、いきいきサロンの実施団体は直近で33団体と聞いている。

また、住民主体の健康づくり・仲間づくりの活動である「通所型サービスB」としては8か所ある。

質疑⑬：緊急通報装置について、本人がボタンを押さないと通報されないと聞いている。今は電気ポットを使用すれば安否確認できるなど、様々な仕組みのものがあるが、検討しているものはあるか。

回答⑬：緊急通報装置については、現在の仕組みを維持していく。ただし、固定電話の回線がなくても利用できるモバイル型の緊急通報装置の導入や、対象者の自己負担額の軽減に関する検討を進めているが、これらは今回の予算には計上していない。

質疑⑭：水道メーターと電力メーターを活用した安否確認等の仕組みについて検討をしていると聞いているがどのようになっているか。

回答⑭：今後、建設水道課とともに業者から説明を受ける予定である。

□住民環境課

質 疑：後期高齢者医療と国保健康保険ではどちらが町の負担が大きいのか。

回 答：予算書の一般会計繰出等の状況から、後期高齢者医療事業は総額2億3,076万1千円、国民健康保険事業は9,177万5千円の負担となっている。よって後期高齢の町負担が大きい状況となっている。

□教育委員会

【子育て支援係】

質疑①：こども家庭センターに配置する社会福祉士の人件費の予算は。

回答①：社会福祉士は会計年度職員ではないため、主要事業には記載していない。

質疑②：保育園の利用が多くなることにより、みつどんのお家の利用が減ってくると思われるが、ここ3年の使用の推移や今後の見通しは。

回答②：子育て支援センターの延べ利用者数は令和5年3,566人、令和6年4,132人、令和7年は前年度を超える見込みでおおむね横ばいである。また、ワークセンターの延べ利用者数は令和5年817人、令和6年1,267人、令和7年は、前

年度並みとなる見込みで月 80 人前後の利用がある。前年度との違いは町内利用者が多く、要因としては移住者の方の利用が多くあった。

質疑③：2階ワークセンターの利用者も多い状況だと思うが、1階で受付が完結できるようにはできないか。

回答③：令和8年度から2階ワークセンターのスタッフには1階の利用受付も兼ねて行ってもらおうと考えている。現在は2階と1階の業務の内容が違うため分かれているが今後は電話受付等も一括してできるよう検討している。

質疑④：県立大学連携事業の内容と7年度の実績は。

回答④：県立大学の学生が子育て支援センターに毎月1回以上来所し、利用者親子とふれあいの機会があったり、学生企画で「ファミリーコンサート」や「クリスマス会」を開催している。

また、県立大学の先生に来てもらい子育て講座を年4回程度実施している。学生が町に来て、交流などをすることで保育士の応募に至ることもある。

質疑⑤：令和6年度の行政報告書で子育て講座の実績では、参加者数が5～7名であった。もう少し参加者が増えれば良いと思うが、令和7年度の実績はどうか。

回答⑤：令和7年度は全5回開催し、3～7名の方が参加している。

毎月の支援センターの行事予定を作成して周知しているが、今後は広報誌や子育て支援サイト等によるお知らせを検討したい。

質疑⑥：みつどんのお家の利用対象が未就園児になっている。第1子が小学生になると利用できないとの声があるが、小学生と未就園児がいる家庭の場合、小学生も利用できるような臨機応変な対応考えられないか。

回答⑥：支援センターは未就園児と保護者が他の同世代の利用者と交流を深め、悩みごとなど相談できる施設のため、仮に小学生を受け入れた場合、走り回ったりして小さい子にケガを負わせるリスクがある。場所を仕切るとしてもスペースが狭くなり、対象者がのびのびと利用できなくなるため、受入れは考えていない。小学生がいた場合、外の遊具等で遊んでもらうなどの対応をしている。

質疑⑦：こども家庭センターで町民会館等を活用し、みつどんのお家の対象者以外の小学生等を受け入れたり、町民会館等の周辺一帯を子どもが遊べる空間や教育空間としての活用を検討していくことは。

回答⑦：今後、検討していく可能性はある。現時点ではこども家庭センターは、みつどんのお家に設置する。こども家庭センターの職員は学校や家庭等への訪問が多く、現状みつどんのお家は未就園児の施設として活用する。

質疑⑧：訪問支援員派遣事業はどのような支援が受けられるのか。

回答⑧：妊婦や子育て家庭等に向けて家事や育児等を手助けする事業で、具体的には日常的な家事と育児の支援が受けられる。逆に大掃除や正月料理の調理等の非日常的な家事の支援は受けられない。

現在、町では町外の委託業者2社に依頼し、派遣を行っている。

質疑⑨：訪問支援員事業の利用実績は。

回答⑨：昨年度は5名の利用者で120回、238時間の利用があった。今年度は令和8年2月末現在で登録者8名、利用者4名、34回、66時間の利用となっている。

町としては、困ったときのサービスであるため、利用率が上がれば良いという事ではなく、事業を知っていただき、いざという時に利用できるよう登録者を増やしていきたいと考えており、広報誌等で周知をしていきたいと考えている。

質疑⑩：訪問支援員事業の令和7年度予算は余ったのか。

回答⑩：令和7年度予算は余ってしまったため、令和8年度予算は前年よりも減額している。

質疑⑪：90万円の予算でどの程度、対応が可能なのか。

回答⑪：150回、300時間の利用が可能。利用は1回2時間までとなっている。

町から業者への支払いは1時間あたり2,500円と1回の交通費1,000円を委託料として支出している。

質疑⑫：ワークセンターの講座の内容について以前は資格が取れるようなものがあったと思うが、最近は学びの内容が減っているのか。

回答⑫：最近は資格取得を目的としたセミナーは行っていない。前年度までは起業やメイク、ミシン、マネー講座などを行った。今年度は洗濯、AI活用、就職・転職セミナーなど行っている。

最近では「みつどんのお家ファミリーデー」を開催し、眠りに関すること等を行っている。

質疑⑬：誕生祝金があり出産費用の自己負担分が軽減できてありがたいが、卒業等の祝金については、中学卒業時の出費が多く、もう少し増額できれば助かると思うが。また、祝金の予算が前年度から約200万円の減額されている理由は。

回答⑬：祝金の趣旨は支度金ではないのでご理解いただきたい。

減額の理由は子どもの出生数が少ないことによるもの。前年度に比べ出生数が10人少なくなり200万円減額となった。

【こども保育係】

質疑①：保育園費の需用費について3園のばらつきがあるのは何故か。

回答①：消耗品費については園児数が異なることと、維持管理費についてはさみずっ子保育園はオール電化であるので、電気料金が他の保育園よりも多くなっていることなどが影響している。

質疑②：保育園の給食について、小学校は25%アップとなっているが、保育園の保護者からご飯を持っていくことについてどうにかならないかという意見があるがどうか。

回答②：数年前から要望があるが、給食室に機材の入るスペースがなく、炊飯窯の費用も1,000万円ほどかかるためすぐには対応が難しい状況である。

質疑③：会計年度職員報酬について、加配もあるが各園それぞれの人数は。

回答③：3園で18名（南部5・さみず7・りんご6）。この他に代替職員がいる。

質疑④：町外保育園への保育委託料とはどういう事業か。行政報告書はどこに出ているか。

回答④：町外の公立保育園への委託料である。行政報告書はこども保育の報告部分に掲載している。

質疑⑤：町外保育園への保育委託料を支払っている人数や状況は。

回答⑤：3家族程度で1名あたり200万円。理由は両親の就労先が町外にある広域利用保育の利用者であるため。

質疑⑥：管外保育の受け入れは何名程度か。

回答⑥：令和6～8年度は0名である。保育園定員が満員であるため他市町村からの受け入れが難しい状況である。

質疑⑦：利用者から「保育園についてこれからは使いづらい」と言われている。担当者から利用方法や利用条件などの説明をしていると思うが、しっかりと利用者に伝わっていない状況があり、不安ばかりが出てきている状況である。今までの利用の仕方に不適な部分があったようであるが、利用条件等を保護者にしっかりと理解をしてもらわないといけない。ただ説明会で説明をただけでは理解が得られないと思われる。法に則さなければ補助金が出ないことなどもしっかりと説明し、理解をしてもらわなければならないうえ、保育利用要件から漏れた人への対応などについてもしっかりと説明をしていかなければならないと思う。今後どのように取り組んでいくのか。

回答⑦：令和7年2月に保育行政事務調査にて指摘があり、令和7年8月に在園児の保護者に令和8年度の変更点など記載した書類をお渡した。コロナ等の影響もあり説明会が開かれていなかったため、令和8年度からは説明会を再開し、保護者との関係改善を図っていききたい。

質疑⑧：児童クラブについて、町長は要件に合えば1年から6年まで全員受け入れると一般質問で答弁していた。昨年秋までは、低学年までとされていたため、諦めて、高学年で申込をしなかった方がいるかもしれない。高学年の受け入れは可能か。

回答⑧：申し込みは済んでおり、職員配置を検討しているところである。受け入れ人数に余裕があれば可能と考えるが、どの程度来るかは見込めないため、4～5月の運営状況を見て判断し対応したい。

質疑⑨：町民に説明をする際には教育委員会に相談するよう伝えればよいか。

回答⑨：4～5月の運営状況を見て判断したいと考えている。

質疑⑩：検討のめどはいつか。

回答⑩：昨年度も定員を上回った。令和8年度は4～5月の状況を見たいため、できれば5月下旬から情報開示をしていきたいと考えている。児童クラブ補助員も3名新たに任用した。現在、任用している補助員等の勤務日数を増やして働いてもらっているため、そういったところも加味して調整していきたい。

質疑⑪：ホームページでの情報について学校から家庭にはホーム&スクールがあるが、

教育委員会からの発信が保護者に届かないのではないかと。長野市は学校及び教育委員会からのお知らせもメールが届くシステムがある。飯綱町は直接届くシステムになっていないと思われるが改善はできるか。

回答⑪：ホーム&スクールは学校からのお知らせになっている。今後、教育委員会からのお知らせについても必要であればそのようなツールの活用も考えたい。保護者のアドレスは学校管理のため、学校にも理解をしていただきながら検討が必要と考える。

質疑⑫：保育士派遣業務委託料について、派遣の保育士は何名か。

回答⑫：1名。勤務時間は12：30～18：00まで。

質疑⑬：これは町で人が確保できればなくなるのか。見通しは。

回答⑬：確保できればなくすことはできる。ただし、その時間の勤務を希望する方がいない状況である。

質疑⑭：りんごっ子保育園の遊具修繕について20年以上経過しているとあるが、今年度の修繕予定と今後の見通しは。

回答⑭：使用点検で指摘されたすべり台、アーチ、チェーンネットを令和8年度に修繕を行う。遊具の点検は毎年行っており、判定で安全面の確保や修理が必要と指摘されたものを修繕している。

質疑⑮：給食の財源については、保護者からの給食費徴収の額か。

回答⑮：副食費は町が全額支出しているので保護者からの徴収はない。その他は保育士等給食実費徴収である。

質疑⑯：保育園給食費の5,496万円の財源は。

回答⑯：ふるさと応援基金を繰り入れている。

第4款 衛生費

□保健福祉課

質疑①：母子保健事業費中、「みつどんのお家」の1階で実施している事業があれば教えてほしい。

回答①：育児相談として、月に2回、保健師と栄養士が「みつどんのお家」を訪問し、体重測定や健康相談を行っている。

質疑②：その他は、全て健康管理センターで実施しているのか。

回答②：一時、「みつどんのお家」で実施していたこともあるが、手狭な会場のために1階と2階にまたがってしまったり、移動が多くなってしまったり、全体を見渡しにくい状況が生じたことから、現在は健康管理センターに会場を戻した経緯がある。

質疑③：検診事業費中、先日健康づくり推進協議会の委員として会議に参加したが、健診の受診率がなかなか上がらないという話題もあったので、そういった会議体を有効活用して広くアイデアを募って健診事業の推進につなげるという

のはどうか。

回答③：そのように進めていきたい。令和6年度から飯綱病院の健診を担当している医師や栄養士も委員として加わったため、具体的な話し合いができる機会にしていきたい。

□住民環境課

質疑①：住宅用太陽光発電システム設置費補助等で、町内の住宅用の太陽光発電施設はどの程度整備・普及しているのか。

回答①：平成27年度から補助事業を開始し、年間4件から28件の補助金交付を行い、10年が経過している。補助事業の開始前から整備をされている方も存在しており、普及割合の詳細については明確ではないが、補助制度を活用した整備件数は150件程度となっている。

質疑②：飯綱町での資源ごみの有償でのビン・缶の収入はどのようになっているか。

回答②：有償となる収入は、北信保健衛生施設組合の収入になり、町に請求される分担金に反映される。当組合の収入として、アルミ缶等の金属類売払いとペットボトルの有償入札抛出金がある。金属類では1,400万円、ペットボトル再商品化等に伴う抛出金で300万円、合計1,700万円程が収入となっている。ビン類は再商品化の費用負担があり、有償にならず収入に至っていない。缶金属類は品目により単価が違い、令和6年度では、鉄製品は1トン当たり49,500円、アルミニウムが209,000円、その他雑屑は11,000円となっている。

質疑③：古紙回収補助について、平出育成会では引き続きやっているのか。

回答③：平出育成会は、今年度児童数の減少などにより回収を行っていない。予算では、牟礼小学校・三水小学校・平出育成会の実施として予算要求したが実質、牟礼小学校のみとなる見込みである。

質疑④：北信保健衛生施設組合火葬場分担金について、火災に伴う費用は含まれているのか。

回答④：令和7年度の分担金で、火災に伴う工事費や火葬炉設備の機能向上工事の負担を計上している。火災に伴う工事費等の精算は未了であるが、分担金の精算は令和8年度に行うため、その分減額となる予定である。

質疑⑤：長野シルバー人材センターへの委託に伴う不法投棄パトロールは、どの程度、巡回や回収等をお願いしているのか。また、大型のごみも回収しているのか。

回答⑤：4月から11月までの間、週1回、午前3時間・午後3時間の計6時間をかけて町内を巡回し、ごみの回収を行っている。大型または多量のごみについては、運搬上の問題や、投棄された場所によって回収時に危険が生じる場合もあるため、役場へご報告をお願いしている。

巡回やごみ回収状況は、道路脇などの少量のものは回収し、牟礼B&G海洋センターに設置しているごみ保管庫に搬入し、春・秋に処分を行っている。

質疑⑥：パトロール時、大量の不法投棄を発見し、町に報告があった事例はあったか。

回答⑥：令和6年度に100mにわたり、引越し時に出たものを不法投棄した事案があった。

質疑⑦：パトロールで、ごみほどの程度の回収をしているのか。

回答⑦：年間約300kg程度の回収になっている。

質疑⑧：長野シルバー人材センターには、いつから巡回を依頼しているのか。

回答⑧：平成31年度から依頼している。

質疑⑨：以前は長野シルバー人材センターではなく他の形で巡回パトロールをお願いしていたと認識しているがどうか。

回答⑨：以前は、各地区から選出された方による巡回があったが、選出が困難になり長野シルバー人材センターに委託する経過となった。

質疑⑩：腕章等や啓発活動の服を着用しているのか。

回答⑩：パトロール時の安全確保のため、町から支給している黄色のジャンパーと帽子を着用している。また、巡回車には不法投棄パトロール中のステッカーを掲示している。

第5款 労働費（シルバー人材センター運営事業）

□保健福祉課

質 疑：なし

第10款 教育費

□教育委員会

【総務教育係】

質疑①：中学校管理費の762万の減額の内容は。

回答①：令和8年度当初予算については学校からもヒアリングをして要望を聞く中で対応した。7年度当初予算でも講師予算を計上したが講師が見つからなかった。講師については採用が厳しい状況という事なので、1名分のみの予算計上であり、前年度4名分と比較すると減額となっている。

質疑②：来年度、来てもらえるということであれば補正予算対応になるのか。

回答②：来ていただける方が見つければ補正予算を組むことも考えられる。

質疑③：第3次子ども読書推進計画案には、学級文庫の充実とあり、図書館で除籍した本を整備しているとされている。除籍した本を学級文庫とする扱いはどういった考え方なのか。

回答③：除籍した本については、いらなくなったというよりは、「まだ読んでほし

い」という意味合いを込めて学級文庫として記載している。図書館で収まり切れない良い本を学級文庫においてもらっている。

質疑④：司書の先生が子どもの年齢層に応じた整理をしてもらっているということによいか。

回答④：お見込のとおり。

質疑⑤：小学校の体育館空調整備工事関係で電気工事の補正予算が計上されたと思うが、今回の中学校の体育館空調整備工事予算の中では同様の電気工事も加味されているとの認識で良いか。

回答⑤：お見込のとおり。

質疑⑥：高校生等通学補助についての内容はどういうものか。

回答⑥：電車代2割、バス代5割の補助をしている。高校生等には中学生、小学生も入る。

質疑⑦：支援員、介助員の勤務時間と業務内容は。

回答⑦：学校の要望と本人の希望を聞く中で時間は決めている。支援員は教員免許を持っている方で子どもたちの勉強や生活の支援を行っており、介助員は教員免許を必要とせず主に生活の補助等を行っている。

質疑⑧：チャレンジルームに先生が滞在している時間は何時から何時までで、どういう方がいるのか。

回答⑧：中学校の学習支援員3名（女性2名、男性1名）。チャレンジルーム専属の先生が8：30～16：30（女性）。ほか2名は特別支援教室で8：30～12：30（女性）と8：30～16：30（男性）。3名とも教員免許を持っている方である。チャレンジルームの先生が帰られた後は、県費の正規職員の先生が交代で教室に入っている。

【学校給食係】

質疑①：町長が一般質問で力強く食材費25%アップと言われているので注目されていると思う。現在、量的には十分で、質のアップの事と思うが、数年前に栄養士に聞いた話では、数年前は物価高で安価な野菜等を増していた等の話も聞いた。25%アップのイメージを教えてください。

回答①：物価高については3年ほど前から続いている。今までは安価な食材への変更などを行い、食材費を節約する努力をしてきたが、これまで使用したかった食材を今後は使えるようにしていきたい。現在、献立は栄養教諭が作成しており、かなり経費を抑えてもらっている。無駄使いにならないよう今後もそのスタンスで進めていきたい。

質疑②：コンテナの買い替えについて、牟礼小の児童からスープが冷たいという意見がある。改善できないものか。

回答②：各校に学校給食担当者がおり、毎月の会議の中で給食の温度について同様の意見が出た経緯もある。改善はしてきているが、難しい面もある。中学校では逆に熱いという意見もある。できるだけ温度を下げないように気を配って

いるが、今後も引き続き配慮していきたい。

質疑③：入れ物の工夫等で改善はできないか。

回答③：素材についてはステンレス製で錆びないものを選ぶ必要があり、選択肢が限られているという現状であるため難しい。

質疑④：配送の工夫等はされているのか。配送順を変えるなどの工夫はしているか。

回答④：この2年間ではそういったことは検討していない。それ以前は不明である。

質疑⑤：検討の余地はあるのか。

回答⑤：配送や調理の順番などについて、検討することはできる。

質疑⑥：長野市だと10時台に配送が終わっていると聞いているが、参考などになっているのか。

回答⑥：当町の小学校については、11時過ぎに配送、12時には到着するスケジュールである。できるだけ喫食直前に調理完了するよう作業を行っている。

質疑⑦：25%の引き上げだが、一食当たりにかかっている金額を教えてください。

回答⑦：令和6年度実績で、小学校315円、中学校360円。

質疑⑧：ここから25%上がるということか。

回答⑧：本来徴収すべき金額に対する25%になるので、中学校は現在の330円から410円になる。

質疑⑨：学校給食費について国からの予算で一人当たり5,200円が県に払われ振り分けられるとなっているが、フリースクールも県から充てられるのか。

回答⑨：国公立の学校への補助となっているためフリースクールについて町としては検討していない。県から要綱の素案が示されていないため、示され次第内容を精査して要綱制定をしていきたい。

質疑⑩：フリースクールに通学している子も小学校に籍がある状況だと思う。そうであれば、当然該当してくると思われるがどう考えるのか。

回答⑩：国の立て付けとしては、5月1日現在小学校に通っている生徒数に対して一律5,200円となっている。在籍している子どもについては、その分の費用は町に入ってくると思われる。あくまでも自治体に対しての支援金という形と認識している。

質疑⑪：義務教育費の補助金。フリースクールの子どもへの助成金が出るようになった。こどもまんなかであるならば前向きに進めてほしいと思うが。

回答⑪：国公立の学校給食費に対しての支援であるため、フリースクール通学者への補助は別で考える必要があると思われる。今後検討の必要は考えられる。

質疑⑫：県からの要綱の素案が示されていないということだが、示される見通しは。

回答⑫：県も国から示されていないと思われるため、いつになるのかは不明。県からは「なるべく早急に、要綱の素案をお示しできるよう調整しているところ」との通知をいただいている。

質疑⑬：給食調理場の会計年度任用職員は何人いるか。

回答⑬：調理員は現在13人だが、新年度から12人になる。12人が最低ラインのため13人が理想である。手先を使う職場のため、体調不良等の諸事情で退職者が

出る都度、募集をするが、応募が少なく人員確保に苦慮している。年齢についても、若手調理員が少ないという現状であり、課題となっている。

質疑⑮：仮に 12 人を下回る場合のバックアップ体制はあるのか。

回答⑮：常勤職員のほかに代替調理員 4 名の体制である。代替調理員に依頼し、なお不足の場合は会計年度任用職員の事務職員 1 名が入り、さらに不足の場合は係長が入って対応している。

質疑⑯：歳入について実費徴収金とあるが、無償化との兼ね合いをどう解釈すればよいか。

回答⑯：中学校の実費徴収金は 330 円のところ半額を町が負担しているため、残額の保護者負担分および教職員分を計上している。小学校の実費徴収金は教職員分を計上している。国からの支援金についてはその他雑入に組み入れている。

質疑⑰：小学校については無償化のため、小学校に記載されている実費徴収金は全て教職員分ということによいか。

回答⑰：お見込のとおり。

質疑⑱：食材費が上振れした場合は補正をするのか。

回答⑱：補正が必要な状況であれば補正対応する。

質疑⑲：小学校、中学校にアナウンスをしていくことになると思うが、年度途中で値上げするというアナウンスはしないということによいか。

回答⑲：お見込のとおり。

【生涯学習係】

質疑①：ブックスタート事業でセカンドブック、サードブックがなくなった理由は。

回答①：予算のメリハリをつけていきたいと考えている。図書室も新しくなったこともあり、図書室に足を運んでもらえるような仕組みを考えていきたいと考えている。事業費としては大きな額ではないが、公民館としてはセカンドブック、サードブックは大切な事業であったことも認識しているので、本に対する子どもたちの入り口を広げていけるような仕組みを考えていきたい。

質疑②：一旦やめてそれに代わる取り組みにという説明であったが。予算的には 22 万である。年齢により本の内容がガラッと変わる。良い本を届けるという素晴らしい事業であると考えている。再考は。

回答②：本への志向が変わってくる年齢であるのも理解ができるが、現状では今ある予算の中で運用を考えていきたい。

質疑③：セカンドブック、サードブックがなくなったことに失望した。選んだ本を子どもに読んであげるといった時間が大切であると思われる。とても大きな意味があると思うが再考できないのか。

回答③：子どもが本に関わると言うことについてはご指摘のとおりであり、公民館の図書担当もその気持ちは十分ある。図書室の充実を図っているのも事実であり、親子で図書室を訪れる家庭も増えている。たくさん本を手にとってもらえる工夫をしていきたい。ここで復活を明言することはできない。

質疑④：パブリックコメントで次の5年間の案にもセカンドブック、サードブックが抜けている。推進員への説明もなかったのが残念。パブコメを集めた中で再度検討していくことは考えられるのか。

回答④：パブコメ等の意見は検討していくべきと考えている。予算と委員会のタイミングがずれてしまい、委員の皆さんへの丁寧な説明ができなかったことは申し訳なかったと思う。

質疑⑤：町民に説明をする立場として、どう説明をするのか。

回答⑤：子どもの関係に関して今回の事業費は大幅に増えていると考えている。子どもまんなか宣言をして様々な事業を組み入れ、事業トータルの枠の中で検討をした際、事業から外れたという状況。全体の予算枠がある中で予算の執行がされていると認識してほしい。

質疑⑥：町長の査定でセカンドブック、サードブックの見直した方が良きこえたが、町民の認識と町長の認識がずれていると感じる。20万円余りの予算を他に回した方が良きという理由やエビデンスは。

回答⑥：3歳、5歳になると図書室にも来てもらえるようになるので、そこで親と本を選んでもらえれば良いのではないかという考えである。

質疑⑦：子どもだけで図書館はいけない。自宅に読む本があることが大切。図書室に行かない親に向けた取り組みであることを理解しているのか。予算の関係で決めたとなると、使用済みオムツの持ち帰り廃止よりも下になっているということになってしまわないか。

回答⑦：上や下というものではない。町を良くするための予算であるので今後は復活や拡大することも考えられるが、今年度は事業から外れたということで理解を願いたい。

質疑⑧：今年度については、町民会館図書室、中学校図書館の予算等も含めて考える等はできないのか。

回答⑧：公民館の図書担当は色々な企画や運営に関わる方針を持っている。公民館図書室としてできることを考えていきたい。本を渡して終わりということにならないようにしたい。

質疑⑨：「渡して終わる」という考え方を改めてほしい。新しい公民館図書室にどう足を運んでもらえるのかしか考えられていないのではないかと感じる。大事にしてほしいのは、自ら足を運べない子どもたちがいかに本に興味を持ってもらうのかを考える施策が大切だと思う。本を読む習慣や読んでもらった充実感をもっと強くとらえてほしいが。

回答⑨：とても重要な部分であると思う。やや認識が低かったかもしれないので、また検討していきたい。

質疑⑩：セカンドブックはただ渡すだけでない、3歳児健診で読み聞かせをしながら渡すということは復活してもらえないのか。

回答⑩：「これをやります」といった詳細については明言できないが、読み聞かせをする場面等を設定していくことから考えていきたい。それに取り組むために

はボランティア等の協力も必要になるため、今後検討していきたい。

質疑⑪：文化財一般会計で地蔵久保のオオヤマザクラの関係予算があるが今後が心配である。現在の管理状況と見通しは。

回答⑪：毎年モニタリング調査をしている。令和8年度については仮囲いの修繕予算を盛った。樹木医からは年々存続が厳しくなっているとされているが、手入れ、モニタリングは継続していきたい。

質疑⑫：文化財説明板、標柱の改修の具体的な内容は。

回答⑫：具体的な内容は、資料が無く詳しい回答ができないが、文化財保護審議会に諮って検討していきたい。現在、三水地区小学校の標柱の話題が上がっている。現状、田んぼの中などに立っているものもあり、撤去の要望等もあるため、審議会の中で検討していきたい。

質疑⑬：町民会館図書室司書の現状はどうか。

回答⑬：現状すぐに頼める人がいるわけではないため、何とか現状でできる方法を検討していたところであるが、町長の意向であれば、今後探していく。

質疑⑭：目途があつての回答ということではないのか。目途がないならその間どうするか。

回答⑭：現在町民会館の職員がおり、そのなかで対応している。子ども図書室にカウンターがあり電話やPCケーブルを引き込んでおり、可能な限りそこで業務を行ってもらうことを考えている。課題は土日である。夜間も22時までやっているのは町民会館の強みであるので、借りやすい、返ししやすい図書室を目指していきたい。

質疑⑮：現状、職員は平日勤務で土日休みか。土日はどうなっているか。

回答⑮：土日は管理人が対応している。業務が滞ることはない。

質疑⑯：新たに司書を雇う場合の人件費を予算計上しているのか。

回答⑯：計上していない。

質疑⑰：文化財の保管は溝口会館で行っており、整理をされると言われていたが、その後の検討は。

回答⑰：煩雑になり入りきらなくなっている。そのため、倉井の下水処理場の再利用について検討をしており、大きな収蔵物を持ち込むことを考えている。そうすれば溝口会館も整理ができると考えている。

質疑⑱：時期的な目途や目標はあるのか。

回答⑱：倉井の処理場が数年で後利用できることから収蔵庫にする予定で進めている。

質疑⑲：部活動の地域移行の件について、スポーツ以外に取り組みたいと思っている子どもや保護者に送迎の手段を持たない家庭への支援について住民からも声が上がっている。家庭環境等により不公平感がないようにするために、町としても手立てを考えてほしいと思っている。実施場所への足の確保については、町も考えていくことが必要だと考えるが、子どもの思いを潰していくことがないように対応を考えてもらえないか。

回答⑲：現状、生徒数の減少によりなくなった部活動もあるが、現在はスポーツに限

らず9クラブが中学校で活動している。クラブと部活の大きな違いは活動時間である。現状終業後からクラブ活動開始前までの1時間半は中学校の会議室や図書館で過ごしてもらえるように環境を整えている。帰りについては町で取り組みはできていないが、クラブ活動の時間まで過ごしてもらう場所の確保は生涯学習係で行っている。町内で活動してもらえるのであれば、自宅に帰ることなく、過ごしてもらえる仕組みを作っている。バスケットボール等は信濃小中学校と合同で行うために生徒に飯綱町に来てもらったり、野球は豊野中学校から同じく来てもらったりしている。三水小学校のスクールバスを利用して信濃町から来てもらっている。

質疑⑳：部活の地域移行について活動の時間割は決まったと思うが場所取りの手続きはどうしているのか。

回答㉑：三水B&Gにコーディネーターを配置し、学校行事等を集約し予約を一気に行っている。基本的に時間が決まっている。

質疑㉒：毎月の手続き等はしなくてよいということか。

回答㉒：三水B&Gに用紙をもっていってもらうことはあるが、夜中にパソコンで予約を取るということはなくなっている。

質疑㉓：部活開始前の時間の過ごし方で、図書館で静かにできず怒られている子もいるが、会議室を使える等の配慮はできないか。

回答㉓：会議室は軽食を取るなどのみの使用許可を学校にもらっている。そうでないと大人の目が届かなくなり何でもありになってしまう。既にクラブ活動者以外の者の存在もあるとの情報もある。

質疑㉔：地域移行を行ったことで一般の人の施設予約が難しくなるケースもあると思うが一般の人が使いやすいようなルールはあるのか。

回答㉔：元々部活で今まで20時までは中学校の体育館は中学生のみが使っていた。来年度は半面ずつ使う等の方法を取る予定だが、一般の人はB&G等を活用してもらえると施設予約については大きな混乱はなくありがたい。

質疑㉕：牟礼B&Gと三水B&Gで予約の取り合いが起きている。グラウンドを使う団体が、雨天時の利用予約を入れており予約が取れないことがある。その点はどう考えているか。

回答㉕：各種団体には団体同士で融通しあってもらうなど一般的なモラルの中で使用いただいていると認識しているが、偏った予約が多いとなれば抽選等も検討していくようになると思う。

質疑㉖：今後部活動のコーディネーターの時間が増えるのか。

回答㉖：予算上、今までは週3回だが、週5回になる。今のコーディネーターは、スポーツ協会の事務局も担っている方である。今後週5回引き受けてくれる人を探していくことになる。

質疑㉗：その方の業務範疇は町全体の施設か。

回答㉗：あくまで部活動の施設のコーディネートである。中学校や三水BGから歩いて行ける距離の施設が対象になる。

質疑⑳：今のところそれ以外の施設予約は早い者勝ちということか。

回答㉑：従来通りだが、そういうことになる。

質疑㉒：飯中のグラウンドはどこか使っているのか。

回答㉓：野球クラブが使用している。

歳入

質 疑：なし

以上